

令和6年度 校内研究について

平戸市立大島中学校

1 研究の目的

- すべての生徒に確かな学力を定着させ、主体的に学ぶ力をつける。
- 研修や授業研究を通して、日々の授業改善を図る。
- 研修を通して、自らの教養や指導力を向上させるとともに、教師の組織力の向上を図る。

2 研究主題

未来へつながる「EdTech-OSHIMA」

3 主題設定の理由

本校の生徒は素直で思いやりがあり、何事にも真面目に一生懸命取り組む。しかし、幼い頃から小集団の中で育ち、互いに顔見知りのため競い合う場面が少なく、自ら主体的に判断し行動する力が課題である。また自己肯定感が低く、自分に自信をもてない生徒が多い。中学校卒業後は島外の高校へ進学するため、島外で下宿をする生徒もいるなど、異なる環境での生活が始まる。そのため、環境の変化に柔軟な対応力や、多様な価値観を受け入れながら人と関わるコミュニケーション力、また自ら考えて行動する主体性を培っていかねばならない。加えて、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していくキャリアプランニング能力を身に付けさせる必要がある。そこで、少人数や離島であっても多様かつ効率的に知識を習得できるEdTechを様々な教育活動において活用することで、新しいテクノロジーの知識や技能の習得だけでなく、教科教育を効率化し、生み出された時間で、課題の発見・解決、意見交換・協働といった、探求学習に取り組ませたい。また、本校がこれまで取り組んできたふるさと教育を基盤として、生徒間、学校間、地域や行政等とのつながりによって、生徒の表現力・発信力を高め、人間性豊かな生徒を育成したい。その上で、「学びのSTEAM化」を研究の軸として、「知る」と「創る」を繰り返すことによる生徒のワクワクを重視し、様々な教科を横断的に活用することで思考を活性化させ、さらに生徒が試行錯誤しながら問題解決をめざす学習方法を検討していく。

(1) 学校教育目標より

本校の学校教育目標は「思いやりと実践力を持つ人間性豊かな生徒の育成〔自立貢献〕」である。中学校卒業後は島外の高校へ進学することになる。今後、島外で生活する機会が増えていく中で将来社会人として様々な時と場に対応できる実践的な力が試される。その際に必要な基礎的・基本的な学力を確実に習得させるとともに、自分に自信を持って自己実現できる生徒を育てることが、本校の重要な課題と言える。

(2) 学習指導要領との関連

学習指導要領においては、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、教科横断的な視点から教育活動の改善を行っていくことや、教科等や学年を超えた組織運営の改善が求められている。また、生徒の質の高い深い学びを引き出させ、それを通してどのような資質・能力を育むかという観点から、主体的・対話的で深い学び「アクティブ・ラーニング」を進めていくことで、生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成することができると考えられている。本校では、STEAM教育を柱として、教科横断的なカリキュラム・マネジメントやアクティブ・ラーニングによる創造的な学習プロセスの実現を図ることで、新しい時代に必要となる資質・能力の育成を目指すとともに、本校の重点目標の一つである課題対応能力やキャリアプランニング能力を育てることにつながると思う。

4 研究の仮説

・EdTechを活用することで、効率的に知識や情報を習得し、少人数や離島であっても、生徒が他の学校や家庭、地域、行政等とつながり、そのつながりによって課題と立ち向かい、人間性豊かな生徒を育成することができるだろう。

・「知る」と「創る」を繰り返すことによる生徒のワクワクを重視した「学びのSTEAM化」を進めることで、様々な教科を横断的に活用して思考を活性化させ、さらに試行錯誤しながら問題解決できる生徒を育成することができるだろう。

5 研究の内容と方法

- (1) 授業研究（EdTech、教科横断的な学び、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業づくり）
 - 教科横断的な学びに向けたカリキュラムの作成。
 - 個に応じた学習指導・支援を中心として、各教科で授業改善に取り組む。
 - 研究授業の実施と研究協議の運営。
 - 学力向上プランの作成と実施の推進。（取組の検証）
 - EdTechを活用した教育活動の推進。

- (2) 地域協働（コミュニティスクールやEdTechをいかした外部とのつながり）
 - 小中高連携
 - 家庭との連携
 - 地域、行政との連携

- (3) その他
 - フォーサイトの活用
 - 学習状況調査の実施
 - 各種研修会の伝達講習
 - 市学力調査、県学力調査及び、全国学力調査の分析
 - Q-Uテストの考察と生徒理解の推進

6 研究組織

